



進路課通信

第3号に引き続いて、第4号でも「学校説明会報告」を紹介します。進学を希望している人は、校種や分野の違いはありますが、事前準備、入学後の資格取得、入学前後の費用等の情報を参考にしてください。

学校説明会報告

【 羽陽学園短期大学 】

1 入試（制度・方式・定員・重視するポイント等）について

- ・募集定員を60名に変更で現在申請中（昨年度は80名から70名に変更）
→ 今年度の入学者が52名、1・2年合計で109名と定員総数に対し、少ないことが理由
- ・募集定員の減少に伴い、学校推薦型選抜の募集人員が10名減少（54名から44名）する。
総合型選抜（10名）、一般選抜（4名）は変わらず
- ・総合型選抜の出願手順が今年度から若干変更有
- ・口頭試問のテーマは以下の5つ
「愛着関係」「子育て支援」「自立生活支援」「ノーマライゼーション」「食育」
→ 5つの中から3つ掲示。その中から1つ選択したテーマに対し、質疑応答を踏まえながら説明を行う

2. 授業や実習について

- ・実習先として5つの施設があり、園児たちと触れ合う機会が多い
- ・今年、同じ敷地内にある幼稚園が新しくなった

3. 卒業後の進路について

- ・求人数は学生数の約10倍の件数が来ていることもあり、多くの生徒が希望通りの就職先に行っている

4. お金（授業料・奨学金等）について

- ・羽陽学園独自の奨学金制度もあり（3名、月額5万円以内）
- ・保育士、介護福祉士修学資金の利用も積極的に行って欲しい
→ 保育士修学資金は県内で3年継続して仕事に従事すれば全額返済免除のため、利用者は多い

5. その他

- ・専攻科福祉専攻で1年学べば介護福祉士の受験資格を得る
→ 合格率は100%である（2年連続）
- ・専攻科まで学ぶ3年間で保育士・幼稚園教諭・介護福祉士という3つの資格を取得できるのは東北地方ではここだけ

【 東北文教大学 】

1. 入試 (制度・方式・定員・重視するポイント等) について

昨年度より変更はなし。短大は大学と同じような入試方式。

総合型選抜 エントリープログラム (例年9月だったが7月まで繰り上げた。) →出願→選抜

学校推薦型選抜 (指定) 調査書、面接 (口頭試問含む)

(公募) 調査書、作文 60 分 800 字、面接 (口頭試問含む 30 分程度)

一般 国語、英語 (B 日程は小論文)

短大 学校推薦型選抜 (指定) 調査書、グループワーク含む面接 30 分程度

(公募) 調査書、面接 (口頭試問含む 40 分程度)

2. 授業や実習について

授業は少人数。優しい先生が多い。子ども教育学科では学生同士で協力して作業する授業が多く、学生同士が仲良くなりやすい。

実習が充実している。

公務員講座があり、外部講師による無料講座になっている。

3. 卒業後の進路について

保育園・幼稚園、小学校、市役所 (社会福祉士)、一般企業等

昨年度は県の小学校教諭合格率 100%

進学者も少数ながらいる。

4. お金 (授業料・奨学金等) について

入学前

成績優秀者各学科 5 名まで 1・2 年次学納金半額免除

スポーツ文化優秀者 総合型選抜、学校推薦型選抜 評定平均 3.5 以上かつスポーツや英検・TOEIC などの要件あり。

入学後もあるが、入学前で採用された学生は併用不可。

国際ソロプチミスト山形 (女子、大学のみ)

保育士要請給付型奨学金制度 (短大のみ)

保育士・介護福祉士修学資金 卒業後 3 年間継続して仕事をすると全額免除

学納金は分納、延納も可能。

5. その他

韓国、台湾、ハワイなどの大学と提携しており、留学制度・交換留学制度がある。イギリス、オーストラリアなどにも数週間～1ヶ月程度留学することができる。

3 年後期からゼミに所属。卒業論文を視野に研究を進める。

4 年から就活が始まるため、他大学と違い卒業論文と平行して進めなければならないのが大変かもしれない。(本校卒業生・大学 4 年生より)

部活動やサークルは少人数で活動しているところが多く、所属する人も少ないが、活動頻度が低いのでいくつか掛け持ちをして楽しんでいる学生もいる。

1・2 年生で進学を考えている人は、オープンキャンパスに参加して、自分の資質や能力にあった学校選びをしていきましょう。また、保護者の方と相談することも重要です。2 校の学校説明会の情報をぜひ参考にしてください。

